

平成29年度 社会福祉法人 歩育の会 保育所の自己評価表 森の台、わかばの森保育園

良く出来ている◎(80%以上) ほぼ出来ている○(60%~80%) 努力が必要△(30%~60%) ほとんど出来ていない×(30%以下)

項目		総合評価	努力が必要または改善が必要な意見、
運営管理	1 保育理念・保育方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	◎	
	2 定期的な職員会議等を通じて職員の資質向上、業務効率化や改善に努めている	◎	
	3 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確され、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	◎	
守秘義務	1 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	◎	
	2 園内で知れた事柄について守秘義務を徹底している	◎	
安全・危機管理	1 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	◎	
	2 外部からの侵入者に対し対応策がなされ、訓練が行われている	◎	
	3 緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	◎	
	4 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	◎	
保育環境	1 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	◎	
	2 室内の湿度・温度・換気・照明等は園児の活動に合わせて配慮している	◎	
	3 季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じられるような配慮を行っている	○	季節感が感じられるように、自然物や折り紙などで工夫がもっと必要
	4 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	◎	
健康管理・衛生	1 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映されている	◎	
	2 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心掛けている	◎	
	3 玩具・遊具等については、常に衛生的に保持している	◎	
	4 SIDS(乳児突然死症候群)や感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている	◎	
保育内容	1 全ての園児について、ひとりひとりの最善の利益とその人権を尊重している	◎	
	2 園児にわかりやすい暖かな言葉遣いで穏やかに話をしている	○	全職員がその場で本人に注意する。それが無理ならリーダー等へ報告する
	3 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応をしている	◎	
	4 園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	○	乳児向けが少なく感じる。保管場所の考慮が必要。可能な限り古いものから新しくする
	5 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	◎	
	6 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている	◎	
食育	1 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	◎	
	2 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	◎	
	3 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	◎	
	4 食物アレルギーのある園児は栄養士と職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している	◎	
子育て支援・地域支援	1 園児の登降園時に園児の様子を保護者に伝えている。また聞いている	◎	
	2 虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	◎	
	3 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	◎	
	4 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	◎	

総評・その他

園長、副園長、事務長、主任、副主任7名で各自「保育所の自己評価」を行い、評価、意見を集約し協議のうえ総合評価としました。良く出来ているの評価が多い中、ほぼ出来ているの評価については昨年と同じ評価でほとんど改善されていないことに反省しなくてはなりません。(保育環境3、保育内容2、4)保護者の皆様からのアンケートにも同様の意見もいただいております、上記に限らず様々な意見もいただいております、ご理解、ご協力にも感謝いたします。これからも職員一同向上心を持ち、理念である『子どもひとりひとりの最善の幸せを願う』を職員全員が理解し、より良い保育を行っていきたくと思っております。